

直轄災害復旧事業「氷見地区」農業用幹線用水路の本復旧工事の完成

農林水産省
北陸農政局

- 令和6年1月1日の能登半島地震により、富山県氷見市では最大震度5強を観測し、国営氷見地区（受益面積3,020㌔）の農業用幹線用水路において埋設管の継手の離脱・たわみによる道路の陥没等の被災が多発。
- 令和6年の作付けに向け、ただちに被災状況の調査を実施。被災箇所のうち漏水して通水の支障となる管の離脱箇所の復旧工事を優先して実施し、約3ヵ月という短期間であったが、同年春、例年どおりの用水供給に間に合わせた。
- 令和6年の秋より、変状（管のたわみ）が確認された箇所を対象に復旧工事を実施。改めて充水試験により漏水箇所がないことを確認し、本復旧工事がおおむね完成。令和7年4月26日より例年どおり用水供給を開始したところ。



地震後の被災状況 (R6.1)



令和6年春までに離脱箇所の復旧



※管への充水を行い
地中の漏水箇所の
特定と並行して復
旧工事を実施



(R6.1～R6.3)

令和7年春 用水供給の開始



(R7.4)

令和6年秋～ たわみ箇所の復旧



※変状（管のたわみ）のみで漏水
がない箇所の復
旧工事を実施



(R6.10～R7.3)

令和6年春 用水供給の開始



(R6.4)